

里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	(地域レベルでの取組基盤の整備)協働と持続性確保のための枠組み・体制の整備
手法名	地域と地域外ボランティアが協力した三方五湖の保全・再生
主体	ハスプロジェクト推進協議会
背景(地域の課題)	里地里山の保全再生の実施に際しては、地元住民と外部のボランティアとの協力体制が重要である。多様な分野に波及できるように、取り組みの積み重ねを通じた活動体制づくりが求められている。
手法／方策の詳細	<p>三方五湖は淡水湖、汽水湖、海水湖のほか周囲に水田や梅林が広がる多様な環境の下で成り立っている。希少種ハスの生息環境でもあることから、福井県重要里地里山30に選定されている。</p> <p>1)ハスプロジェクトのビジョン(図) 湖と里のネットワークを再生するための構想「三方五湖・湖と里のネットワーク再生ビジョン」が策定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で受け継がれてきた湖のめぐみの見直し ・多様な野生生物が生息する自然環境の保全と再生 ・人と自然のにぎわう地域づくり <p>2)地域と地域外の活動者による取組体制 会員、役員ともに地域内と地域外が半々の構成となっており、協働した取り組み体制となっている。メーリングリスト会員として活動に賛同する方々にも登録してもらい、活動の広報と支援体制を形成している。</p> <p>3)活動内容 地域住民と地域外住民、子どもから大人まで参加できる多様なプログラムを設定し活動をしている。</p> <p>①調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類調査 <p>②環境教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無農薬の田んぼづくり ・魚がおよぐ田んぼづくり ・田んぼの生きもの観察 <p>③地域文化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五湖の恵みを「食べる」体験(五湖の恵みレシピづくりと試食) ・食文化祭(かつて食べていた湖の魚類等による郷土料理試食会とPR) ・五湖の恵み発掘アンケート調査の実施(湖に関係した生活文化についての意識調査) <p>活動の成果は観光施設や公共施設におけるイベントや展示会を通じて地域はもとより地域外から訪れる人々に普及・発信させている。また、これらの機会を通じて子どもたちにも学んだことを絵に描いてもらうなどしてPR活動に係わってもらっている。</p>
手法・技術的視点	地域の活動主体に地元住民だけでなく地域外のメンバーが加わり、湖を取り巻く地域を一体的に捉えた考え方を基本として、里地里山の保全と活用にかかわる多様なプログラムの展開を図っている点が着目される。
 <p>※構想では三方五湖の保全活用だけでなく、隣接する水田・里山や食文化・農林業などを視野に入れた地域圏全域にわたる保全と活用を目指している。</p>	
<p>図「三方五湖・湖と里のネットワーク再生ビジョン」の概念</p>	
参考資料	里なび研修会in福井 ハスプロジェクト推進協議会 大下 恭弘